



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation  
公益財団法人鳥取県国際交流財団

# とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鳥取国際通讯

No. **128**  
Dec. 2018



写真 平成30年度「よなご国際交流フェスティバル」(9/24)  
2018 Yonago International Exchange Festival (9/24)  
平成30年度「米子国際交流欢乐节」(9/24)

## 目次 Contents 目录

### 特集

「多文化共生ポータルサイト」開設！  
～11言語による多言語相談と情報ページ～  
02・03

TPIEFだより 04・05

- ・平成30年度鳥取県バーモント州青少年交流事業
- ・鳥取県国際交流財団とGATWの交流協定の締結
- ・よなご国際交流フェスティバル
- ・タイムフェスティバル
- ・通訳ボランティアスキルアップ講座の開催

海外レポート 06

- ・ずっと憧れだったアメリカ高校留学

財団で「ボランティア

- しています！」 07
- ・田中 涼子さん(専門通訳)

JICAデスクより 07

英語版・中国語版ダイジェスト 08・09

- Information in English and Chinese 英文版・中文版文摘
- ・Multicultural Symbiosis Portal 多様文化共生入口网站

財団職員の「ここが違っておもしろい！」10

ワールドレシピ 10

- ・チャパティ(ウガンダ)

# 「多文化共生ポータルサイト」開設!

財団のホームページが  
リニューアルしました!!

## ～11言語による多言語相談と情報ページ～



わたしの疑問(悩み)は、どこに聞けばいいの?

そんなときは…  
鳥取県国際交流財団のホームページ  
「多文化共生ポータルサイト」を  
ご活用ください!!



### ■ 多文化共生ポータルサイトって?

財団ホームページに多文化共生ネットワーク会議委員(※)の協力により多言語による情報発信システム「多文化共生ポータルサイト」を開設し、災害情報などの「重要なお知らせ」、暮らしに役立つ「せいかつ安心情報」の提供とともに、困りごとが相談できる「多言語!そうなんフォーム」を設けるなど言葉の障壁をできるだけ低くして利用しやすいものとしています。

※国際交流財団では、平成28年度から県内在住の外国出身者による会議「多文化共生ネットワーク会議」を立ち上げ、外国人住民の視点に立って在住外国出身者のために“必要なこと”を実現していこうという事業を行っています。

# 11言語に対応!

日本語以外で、

英語、中国語(簡体字・繁体字)、ポルトガル語、スペイン語、  
韓国語、タガログ語、インドネシア語、ロシア語、ベトナム語、  
タイ語、フランス語での質問にお答えできます。



## ■「多言語!そうだんフォーム」の使い方

(1) パソコンかスマートフォンで「鳥取県国際交流財団」のホームページを開きます。

【URL】

<http://www.torisakyu.or.jp/ja/>



(パソコンの画面) ※スマートフォンは若干異なります。



(2) トップページ「こまった!」画面から「多言語!そうだんフォーム」へ移ります。(スマートフォンでは、トップ画面右上のメニュー(☰)、または上にスクロールして表示してください。)

次の画面に「多言語!そうだんフォーム」が載っていますので、相談がある方は、ご自身の母語や理解できる言語を選んで、実際の相談入力画面「そうだんフォーム」へ移ってください。

【URL】

<http://www.torisakyu.or.jp/ja/#consultation>

「そうだんフォーム」へは  
上記URLを検索 または  
右記QRコードを  
読み込んでアクセス!!▶



青枠内に表示される言語を選んでください /



### ! ご注意ください!

- 「多言語対応!そうだんフォーム」は、鳥取県内に住所がある方、または通勤・通学している方のための相談フォームです。
- お返事には多少時間がかかります(1週間程度)。急な相談には対応できませんので、あらかじめご了承ください。



## 平成30年度 鳥取県・バーモント州青少年交流事業

今年度も10月12日から23日の日程で、バーモント州へ高校生等15人を派遣しました。多様な人種、文化が集まって一つの国を作っているアメリカで、現地高校生等の家庭にホームステイし、高校の授業を一緒に受けたり、環境に配慮した排水処理施設の見学や野生生物の生態など幅広く環境問題について研修するとともに、州政府訪問や州議会で議会制度を学ぶなど有意義な交流を行いました。

今回の経験を通して、初対面の人にも話しかけ、質問する勇気がつき、人とコミュニケーションをとることの楽しさを改めて感じる事が出来ました。そして壮大な自然を実際に見て、この美しい自然を未来にも残していきたいと強く思いました。たくさんの個性を持った人たちに会い、いろいろな価値観を知り、もっともっているいろいろな国の人と交流し、世界にはいろいろな文化、価値観を持った人がいることを感じたいと思いました。

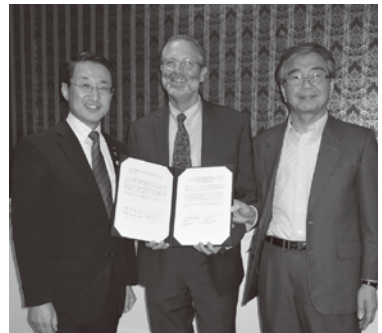


▲米子工業高等専門学校2年 田中佐和子



## 鳥取県国際交流財団とGATWの交流協定の締結

「鳥取県・バーモント州青少年交流事業」は、当財団とバーモント州に拠点があるGreen Across the World(略称:GATW)がカウンターパートとなり、実施しています。GATWは世界の国々と交流を通じて文化的理解と環境に対する認識を深めることで国際交流を推進しているNPO団体です。今年7月に鳥取県とバーモント州政府が姉妹提携協定書に調印したのを機に、今後の交流の一層の発展を期し、「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定を締結しました。



▲調印後の様子(左から平井伸治鳥取県知事、GATWピーター・リンチ代表、財団内田克彦常務理事)

## 開催 **よなご国際交流フェスティバル2018**

日時 **9月24日(月・振替休日)** 午前11時～午後3時

会場 **米子市文化ホール** (米子市末広町293)

お昼には完売続出!本場の味を堪能しようとワールドレストランは大にぎわい。フェスティバルの魅力のひとつは異文化に直接触れられることです。マレーシアの留学生と一緒に工作をしたり、ジャマイカのレゲエのリズムに合わせて踊ったり、ステージパフォーマンスで見た中国の獅子舞が目前に出現したり!いろいろな世界を身近に感じながら大いに盛り上がりました。



▲フロアチアを紹介!

## 開催 **第30回タイムフェスティバル**

～世界各国の料理、ダンスや音楽のステージ、世界の遊び、民族衣装試着、サインラリー～

日時 **10月21日(日)** 午前11時～午後3時30分

会場 **とりぎん文化会館** (鳥取市尚徳町101-5)

今年で開催30回目を迎え、今では鳥取で秋に行われる恒例行事の一つとして定着しています。鳥取で暮らす外国人住民が集い、そして各団体が日頃の交流活動や国際協力・支援活動を紹介するフェスティバルは、今年も多くの来場者でにぎわいました。「色々な国の食や文化が楽しめる」、「世界の様々な国の人と出会い交流できる」、「世界にはまだまだ知らないことが多いと実感、視野が広がる」、「来年も楽しみ!」等様々な感想をいただきました。



▲アメリカで大人気のコーンゲーム!



# 通訳ボランティアスキルアップ講座(英語)の開催

鳥取県内では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催へ向けて、今年から大規模な国際スポーツ大会が開かれています。財団では、こうした大会に来県される外国人選手や関係者へ万全の“おもてなし”ができる受入体制とするために、平成29、30年度に県内3地域で全3回の連続講座を開催し、約90名の方が受講しました。

講座の開催時期	開催地	内容
平成29年11月～12月	倉吉市	基礎編
平成30年1月	鳥取市	基礎編
平成30年6月～7月	倉吉市、鳥取市	実践編
平成30年7月～9月	米子市	基礎編



▲競技関係者が講師をされているときの講座の様子

## 講座の主な内容

### 基礎編

- 通訳としての心構え・マナー
- 国際スポーツ大会で通訳に必要なこと
- 競技の基礎知識
- 英語によるロールプレイ など

### 実践編

- 実際に通訳を行う際の心構え・立ち位置
- 英語の演習、アクティビティ
- 会場案内
- エクスカーションなど

## 活動対象となる競技大会

- ワールドカデットチャレンジ大会2018(平成30年10月 鳥取市開催)(卓球)
- クライミングアジア選手権2018(平成30年11月 倉吉市開催)
- 2019レーザー級世界選手権大会(平成31年7月 境港市開催予定)(セーリング)

## ◆実際の活動の様子

受講者の皆さんには、今年実際に行われた2つの国際スポーツ大会で活動していただきました。役割としては、大会の競技受付をはじめ、会場に設置された通訳案内ブースや会場案内とさまざまですが、選手関係者だけでなく、一般来場者の方々へもおもてなしの心をこめて対応していただきました。



▲大会会場入口の様子

## ◆受講者の声

クライミングとセーリングはこれまで知識がなかったので、専門の競技関係者が講師として来てくださったおかげで競技に興味がありました。通訳ボランティアという機会によって国際大会に携わることができて良かった。これからも選手の皆さんを応援していきたい。

普段なじみがない分野である分、事前研修があったことで競技について調べていくことができた。実際には会場で何が起こるか分からないので、自分でも事前準備をして臨んだ。

大会が始まったばかりの頃は、まだ全体が見えない分、言われたことをそのままやるだけでなく、自分で考えながら調べながらやっていった。私は選手が空港に到着した際の担当だったが、それによって実際の会場でも選手に丁寧にご案内できた。外国人選手以外の大会運営の皆さんとの出会いや、やりとりも楽しかった。

## ◆今後について

今後も国際スポーツ大会等が鳥取県内で計画されていますが、こうした大規模な国際スポーツ大会が成功するためには、通訳ボランティアの力は必要不可欠です。

通訳ボランティアをしてみたいという方、詳しい話を聞いてみたいという方は、ぜひ最寄りの財団事務所へお声かけください。